

8月番組審議会議事録

今月は下記内容で行いました。

開催日：令和7年8月22日（金曜日）

時 間：19時30分から90分

場 所：アリコベール・しんざ 研修室

出席者 審議委員 岡田委員長 小椋副委員長 白井委員 渡辺委員 角野委員

織田委員 白井委員欠席

局 側 藤田放送局長 村田理事長

議 事

① 委員長挨拶

つやまでも過去最高の気温39.1度がニュースになり、他地域でも異常気象による災害が話題になっております、またトランプ関税・参議院選挙など影響が私たちの生活に大きく影をおとしている情報が流れています。

情報の質・メディアはどうあるべきかが問われる事になっており、“情報の根っこがしっかりしていなければ”ならない、放送に携わる私たちがそのことを考え意見交換してゆきましょう。

② エフエムつやま近況・活動報告（令和7年4月以降7月） 村田理事長

- ・16年目局として再免許の年で受診に向けての作業を行っております。
- ・運営面では放送番組・CMを増やすべく取り組み企業紹介番組を強化して営業活動はできないが収入増に繋げてゆく、“つやま魂カンパニー”
- ・前回報告しております、他地域との連携で新しい事業が芽生えている。新しい仕組みでの放送依頼が来ている。“遠隔情報配信”
- ・情報番組で遠隔情報配信 “寺子屋カフェ 仁から生放送中”中ですが、不安定な放送（ソフト利用）を安定化（IP SUND ハードに切替）の取り組み中 上記項目の他地域との連携活動にも光が見えた。
- ・R8年度津山市予算化 秘書広報・危機管理：昨年予算に人件費UPを加味して要望中。防災ラジオの予算化は難しい。

質疑応答

- ・局免許申請は通るのか、落とすための再免許申請では

Ans：事前申請書を届けて内容の精査をお願いしている。

- ・IP SUND ネットワークがあれば何処でも使えるのか 岡田委員長

Ans：利用環境が整った。瞬停が発生している、対策検討中です

- ・どの程度の停止になるか？ 放送途中に音が小さくなる気がかり 渡辺委員

Ans：落雷が引きがねで発生、現在対策検討中、予備回線の信号の調整予定

- ・IP SUND を使った放送の価格だては？ 角野委員

Ans：初期段階で企画内容を明確にして話をすすめます。

③ 局から放送：番組について

藤田局長より

④ 「城東地区寺子屋カフェ JIN より」の情報番組

放送大学の図書館連携講座の放送 タイトル“ICT は授業に役立っているのか”
を試聴頂きご指導いただく。

- ・情報番組の担当者 過去に番組を担当していた聴きやすく城東地区の話題も入れていた。
- ・ICT の講演は 専門用語など一般の人向けには難しい内容あり、
しゃべりが少し早口で聞き取りにくい処あり、中盤以降は少し聞きやすくなったが、
- ・講演会の参加状況は 岡田委員長より 学生含めて30名程度
ご指導内容を生かすように継続する放送大学の図書館連携講座事務局にもお伝えする。

④ その他

質問： 情報番組の担当者への指導は定期的にできているのか 白井委員
パーソナリティーへ局の運営実態など理解してもらい営業も兼ねて放送している事
理解してもらう事。

回答： 情報番組担当者が不足しているので増員も検討している。番組を聴いていただいている
リスナーなどにも運営の支援をお願いする。募集 CM など制作工夫して活動進める。

対応： LINE にグループラインを設定して、日々の放送担当の支援など欠員対応含め情報交換
しているが、営業意識付けなど不足している。担当者会議について R7 年度取り組みを
定期開催して理解を求めてゆく。

質問： 防災ラジオの予算化・普及が進んでいない実務方へのお願いだけでなくトップダウンを
考えては 小椋副委員長

回答： 中長期の取り組みのお話も進んでいない、危機管理室長にも提案してみる。

対応： 防災放送、防災ラジオなど他市町村の実態なども入手して普及活動のお願いをする。

次回 番組審議委員会は5月23日とする

以上内容で2月審議會は閉会した。

答申及び公表について

本議事録を HP (<https://www.fm-tsuyama.jp/>) に掲載及び局内に掲示する。